



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーハシテクニカ  
コード番号 7628 URL <http://www.ohashi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 衛  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 正木 聖二  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日

TEL 03-5404-4418  
平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,994	△5.6	2,099	△4.4	2,052	△8.4	1,675	13.3
28年3月期第2四半期	20,117	0.3	2,194	6.0	2,241	6.5	1,478	4.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △609百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1,562百万円 (54.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	112.61	—
28年3月期第2四半期	96.90	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	34,121	24,006	69.6
28年3月期	35,295	24,917	69.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 23,732百万円 28年3月期 24,595百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△7.5	3,700	△17.9	3,650	△20.2	2,700	△9.3	181.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	16,240,040 株	28年3月期	16,240,040 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,365,660 株	28年3月期	1,365,551 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	14,874,432 株	28年3月期2Q	15,253,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、11月7日に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(2) 追加情報	2
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国、新興国とも各地域において総じて成長率が減速傾向にあり、力強さに欠ける展開が続きました。

また、わが国経済も、公的需要の増加が下支えとなっておりますが、海外経済の減速や円高の影響などにより、成長率は鈍化しております。

当社グループの主力事業分野であります自動車業界におきましては、中国市場は減税効果の影響もあり引き続き好調な推移となりましたが、アセアン市場の回復は依然遅く、米国市場の伸び率も鈍化しており、日系自動車メーカーの海外生産全体の増加率は低下しております。国内では、熊本地震の影響や昨年4月からの軽自動車税の増税影響等もあり、生産は前年比減少が続いております。

このような状況下、当社グループでは積極的な事業展開により業績の拡大に取り組んでまいりましたが、為替の円高影響が大きく、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益は前期を下回る業績となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は資産(旧日本社)の売却により増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は189億9千4百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益は20億9千9百万円(同4.4%減)、経常利益は20億5千2百万円(同8.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億7千5百万円(同13.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。(セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。)

## ①日本

売上高は98億3千1百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益は8億3千万円(同8.9%減)となりました。

## ②米州

売上高は47億8千9百万円(同11.7%減)、セグメント利益は6億5千4百万円(同3.3%減)となりました。

## ③中国

売上高は18億8千2百万円(同4.3%増)、セグメント利益は2億9千7百万円(同34.0%増)となりました。

## ④アセアン

売上高は13億2千5百万円(同15.8%減)、セグメント利益は1億6千万円(同28.8%減)となりました。

## ⑤欧州

売上高は11億6千5百万円(同5.5%減)、セグメント利益は1億8千6百万円(同14.9%増)となりました。

## ⑥台湾

台湾大橋精密股份有限公司は、グループ間取引のみのため、外部顧客への売上高はありません。

なお、セグメント利益は2千7百万円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、更なる為替の円高影響により、平成28年5月16日に公表いたしました「平成29年3月期連結業績予想」を修正しております。

平成28年11月7日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## (2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(厚生年金基金の解散方針決議について)

当社が加入しております「東京金属事業厚生年金基金」(以下、同基金という)は、平成27年9月18日に開催された代議員会において、解散の方針を決議しております。同基金の解散までの期間において資産運用環境の変化等の不確定な要素があり、現時点では解散に伴う費用の発生と業績に与える影響について合理的な算定ができません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,352,148	14,431,107
受取手形及び売掛金	7,587,349	7,499,564
商品及び製品	4,011,932	3,439,566
仕掛品	377,721	341,305
原材料及び貯蔵品	738,884	668,432
繰延税金資産	206,383	275,876
その他	215,105	195,011
貸倒引当金	△4,597	△5,021
流動資産合計	28,484,929	26,845,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,528,846	2,979,298
減価償却累計額	△1,722,165	△1,506,702
建物及び構築物(純額)	1,806,680	1,472,595
機械装置及び運搬具	7,346,456	6,677,665
減価償却累計額	△5,680,481	△5,321,067
機械装置及び運搬具(純額)	1,665,975	1,356,598
工具、器具及び備品	3,318,881	3,237,097
減価償却累計額	△2,970,206	△2,921,882
工具、器具及び備品(純額)	348,674	315,214
土地	697,560	1,330,435
建設仮勘定	41,680	620,310
有形固定資産合計	4,560,571	5,095,153
無形固定資産		
のれん	84,710	42,355
ソフトウェア	225,575	230,896
その他	133,177	122,756
無形固定資産合計	443,463	396,008
投資その他の資産		
投資有価証券	994,530	984,964
繰延税金資産	47,237	52,477
その他	766,464	749,629
貸倒引当金	△2,147	△2,197
投資その他の資産合計	1,806,083	1,784,874
固定資産合計	6,810,118	7,276,035
資産合計	35,295,048	34,121,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,197,096	3,018,552
電子記録債務	4,938,492	4,803,873
短期借入金	—	63,800
未払法人税等	407,367	487,364
賞与引当金	215,917	230,463
役員賞与引当金	77,000	34,000
その他	716,499	674,531
流動負債合計	9,552,372	9,312,585
固定負債		
繰延税金負債	114,284	92,568
退職給付に係る負債	613,888	618,950
その他	97,144	91,451
固定負債合計	825,317	802,970
負債合計	10,377,689	10,115,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,622,234	1,622,234
利益剰余金	20,256,949	21,634,431
自己株式	△1,327,449	△1,327,566
株主資本合計	22,377,405	23,754,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438,375	429,387
為替換算調整勘定	1,779,167	△452,776
退職給付に係る調整累計額	237	926
その他の包括利益累計額合計	2,217,779	△22,463
非支配株主持分	322,173	274,015
純資産合計	24,917,359	24,006,323
負債純資産合計	35,295,048	34,121,878

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,117,133	18,994,134
売上原価	15,079,535	14,128,832
売上総利益	5,037,598	4,865,301
販売費及び一般管理費	2,842,608	2,765,998
営業利益	2,194,989	2,099,302
営業外収益		
受取利息	29,955	11,292
受取配当金	10,050	9,708
持分法による投資利益	6,505	7,075
作業くず売却益	19,569	13,993
その他	12,320	10,286
営業外収益合計	78,401	52,355
営業外費用		
支払利息	—	152
為替差損	19,946	98,165
開業費	11,215	—
その他	266	753
営業外費用合計	31,427	99,070
経常利益	2,241,963	2,052,587
特別利益		
固定資産売却益	781	323,603
新株予約権戻入益	1,972	—
特別利益合計	2,753	323,603
特別損失		
固定資産除却損	25,741	2,430
投資有価証券評価損	—	7,478
本社移転関連費用	5,000	—
その他	1,100	—
特別損失合計	31,841	9,908
税金等調整前四半期純利益	2,212,875	2,366,281
法人税、住民税及び事業税	724,196	771,833
法人税等調整額	5,736	△84,052
法人税等合計	729,932	687,781
四半期純利益	1,482,942	1,678,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,788	3,432
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,478,153	1,675,068

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,482,942	1,678,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,409	△8,987
為替換算調整勘定	158,160	△2,279,580
退職給付に係る調整額	689	688
その他の包括利益合計	79,440	△2,287,880
四半期包括利益	1,562,383	△609,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,557,127	△565,174
非支配株主に係る四半期包括利益	5,255	△44,204

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,212,875	2,366,281
減価償却費	473,333	403,213
のれん償却額	42,354	42,354
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,389	18,031
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,000	△43,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,598	1,207
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12,502	10,009
受取利息及び受取配当金	△40,006	△21,000
支払利息	—	152
持分法による投資損益(△は益)	△6,505	△7,075
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,478
固定資産売却損益(△は益)	△781	△323,603
固定資産除却損	25,741	2,430
売上債権の増減額(△は増加)	△383,856	△388,945
たな卸資産の増減額(△は増加)	485,424	95,237
仕入債務の増減額(△は減少)	△676,099	98,529
その他投資の増減額(△は増加)	△167,915	11,133
その他	77,874	42,451
小計	1,977,145	2,314,886
利息及び配当金の受取額	41,201	21,128
利息の支払額	—	△152
法人税等の支払額	△772,434	△670,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,245,912	1,665,013
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△267,634	△1,414,181
有形固定資産の売却による収入	799	387,012
無形固定資産の取得による支出	△5,860	△62,807
投資有価証券の取得による支出	△4,585	△4,680
長期預金の払戻による収入	600,000	—
貸付けによる支出	△4,465	△3,439
貸付金の回収による収入	2,225	1,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	320,479	△1,096,620
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	68,000
リース債務の返済による支出	△14,228	△14,239
ストックオプションの行使による収入	52,800	—
配当金の支払額	△303,845	△297,585
非支配株主への配当金の支払額	△9,556	△3,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,830	△247,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,079	△1,241,655
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,349,640	△921,041
現金及び現金同等物の期首残高	12,510,445	15,352,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,860,086	14,431,107

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	10,080,300	5,423,738	1,805,351	1,574,043	1,233,700	—	20,117,133	—	20,117,133
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,459,064	4,791	213,952	58,906	8,178	—	1,744,892	△1,744,892	—
計	11,539,364	5,428,530	2,019,303	1,632,949	1,241,878	—	21,862,026	△1,744,892	20,117,133
セグメント利益	911,490	677,016	222,334	225,327	162,513	—	2,198,682	△3,692	2,194,989

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,692千円は、セグメント間取引消去38,662千円、のれん償却額△42,354千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

第1四半期連結会計期間末より、新規設立の台湾大橋精密股份有限公司を連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメント「台湾」を新たに追加しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	9,831,404	4,789,679	1,882,441	1,325,030	1,165,577	—	18,994,134	—	18,994,134
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,609,730	3,299	228,836	32,942	2,249	464,397	2,341,455	△2,341,455	—
計	11,441,135	4,792,979	2,111,277	1,357,972	1,167,826	464,397	21,335,589	△2,341,455	18,994,134
セグメント利益	830,744	654,660	297,937	160,465	186,802	27,047	2,157,658	△58,355	2,099,302

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,355千円は、セグメント間取引消去△16,000千円、のれん償却額△42,354千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。